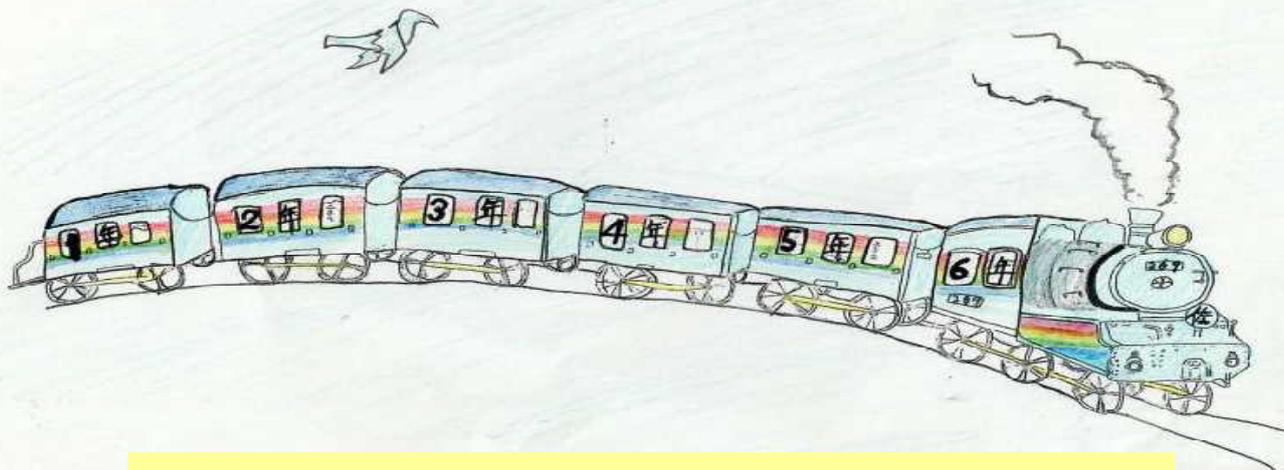




終着駅 「笑顔いっぱいの子どもの姿」



子どもたちの夢と希望を乗せて走る虹色列車「さしき270号」(6年 佐々木成美さん作)

新しい車両に乗り換え、満を持してスタートした“さしき270号”。線路が封鎖され、再び長い臨時停車を余儀なくされました。停車の目的が「子どもを守るため」となれば、従わざるをえない状況です。高等学校や中学校でもインターハイや全中大会の中止が決定されました。最後の大会に懸けてきた生徒たちの思いを考えると胸が痛みます。心のケアも必要になってくるでしょう。想定外が続く、まさに大変な状況下です。

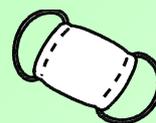
しかし、こういうときだからこそ発想の転換が必要だろうと私は思っています。

「大変」とは大きく変わると書きます。ピンチをチャンスに変えるときです。臨時停車中であっても、一日の時間は普通に流れていきます。夜、遅くまでテレビやゲームに熱中したり、昼間はお菓子やジュース類といった甘いものばかり飲食したりなど、自らの欲望のままにダラダラと家庭で過ごすのか。あるいは、自ら計画を立てて、試行錯誤を重ねながら心と頭と体の勉強をバランスよく保ちつつ、趣味に興じる時間をつくり健康的に過ごすのか。24時間というすべての人に平等に与えられた時間の過ごし方を、子どもたちにじっくり考えさせてみてもいいかもしれません。行動が制限される中、今できる我々の役割は、各家庭のご協力を得ながら子どもたちに主体的に生きる力（生き抜く力）の土台をつくることだと考えています。

そこで、本校では県教委や町教委の指示を踏まえ、臨時休校中の対応を次のように決定しました（裏面参照）。保護者の皆様もさまざまな困難を抱え、日々大変のことと思いますが、目的をご理解の上、タッグを組んで共有に当たっていただきますようよろしくお願いいたします。



本校の臨時休校中の対応



- ① 児童の心身の健康状態の把握のため登校日を週1回設けます。
- ② 感染防止のため分散型とし、全児童を地区ごとに2グループに分けての登下校とします。(田川地区、計石地区のバス通学生も2グループに分けます。)

○ Aグループ[木曜日]・・・7日、14日、21日、28日

計石バス(鶴木山、計石温泉、大丸団地)、田川バス(牛淵)、大尼田バス(全員)、宮浦、八幡、諏訪、花岡北、花岡東、上本町、新町、向町 各地区児童

○ Bグループ[金曜日]・・・8日、15日、22日、29日

計石バス(計石保育園、計石郵便局、消防小屋)、田川バス(桑原、田川バス停、田川公民館)、乙千屋、道川内、白岩、花岡西、芦北 各地区児童

- ③ 生活の仕方や学習方法など工夫していることや努力していることなど児童間での情報交換の時間や児童の悩みに対する教職員のアドバイスの時間を確保するために学校滞在時間を3時間とします。(8時15分～11時20分下校 バス11時30分発)
- ④ 万一の事故及び災害等の危機管理のために、5月11日(月)～5月22日(金)の期間にご自宅の場所や通学路の確認をさせていただきます。(在宅は不要です)
- ⑤ 児童の気持ちをしっかりとつなぐために、学校の「今」をホームページ等で発信します。



以上の決定事項を受け、児童の発達段階に合わせた課題の準備等について職員一人一人が知恵を出し合い、チームで話し合い、全員で協力し合って作成に当たっています。どうか、一緒にご覧いただきたいと思います。そして、できなかったところを叱るより、できたところをほめる機会を増やしていただけたいです。



家庭生活の様子
こんな声が届きました！！



休校が延長になり、涙を流して悲しむ娘たちの姿がありました。1年生の娘は宿題の「給食エプロンのひも結び」や「入浴時に頭から湯水をかぶること」に挑戦し、その成果を見せてくれました。二人とも登校日を楽しみに過ごしています。〈1学年・4学年父親〉

午前中2時間、家庭学習にしっかり取り組んでいる息子と一緒に、夕方は散歩をしています。二人で会話をしながら春の景色を楽しんでいます。その会話の中で「これからは自給自足の時代だね」とつぶやいた息子に成長を感じました。〈4学年父親〉

今日は、ひさびさに外に出て走り回りました。家にこもっているよりも、外でおいしい空気を吸った方が体にもいいし、気分転換にもなります。私の家には、たくさんの花や野菜があるので、それを楽しみながら走りました。〈5学年児童〉

今日は、夜ご飯をつくるお手伝いをしました。ご飯を炊いてキーマカレーとマカロニサラダをつくりました。混ぜるのが大変だったけど楽しかったです。自分でつくったご飯はおいしかったです。また、料理づくりに挑戦したいと思います。〈5学年児童〉